

騒音低水準に抑制

坂製作所 コンプレッサー開発

金属加工の坂製作所（京都市石京区）が、騒音レベルを「静かな公園」並みの43デシマ



坂製作所が開発した低騒音の小型コンプレッサー

で抑えた小型コンプレッサーを9月に発売する。同程度の騒音水準では世界最小サイズといい、医療現場や研究室への採用を目指す。同社は3年ほど前に、精密加工技術を生かして小型コンプレッサーを初めて開発した。振動による騒音は

53デシと低水準だったが、圧縮空気を作る部品とモーターの連結方式を2軸から1軸に変えることでさらに低騒音化や小型化を進めた。

医療現場や研究室の細胞培養装置、自動ドアの開閉用など、幅広い分野への拡販を目指す。1台約29万円（空気貯蔵タンク付き）で、年間約1億円の売り上げを計画する。

坂栄孝社長は「医療現場では騒音を嫌がって屋外にコンプレッサーを置く例もあり、低騒音を求めるニーズを取り込みたい」としている。（三村智哉）